

教育研究発表大会 大会) 重視した理科教育

研究発表 佐倉小学校

〈研究主題〉

豊かな心を育成するための学習指導はどうあるべきか

理科・生活科を通して

〔研究概要〕

一、生活科に関して

① 生活科研究主題

身近な社会な自然と自分との関わりに気づき、自ら学ぶ意欲を育てる生活科学学習はどうあるべきか。

② 研究仮説と取り組み

仮説1

「児童の興味や関心を生かした活動内容を工夫し、できた喜びや感動を味わわせていけば、自ら学ぶ意欲が育つだろう。」

△仮説1に対する取り組み▽

○実態調査を実施し、活動の状況や「やってみよう」と思っていることを把握する。

○実態をもとに活動内容を考える。

・児童にとって身近であること

・これまでの経験が少ないもの

の
・技能として身に付けさせた
・個々の児童の努力によって
達成可能なもの



・個々の児童にいかに関心や
関心をわかせていくかを検討
・個性を生かし、画一的な活
動にならないように配慮

仮説2

「一人ひとりの活動を認め合
い、励まし合う場を設定する
ことにより、自ら学ぶ意欲が
育つだろう。」

△仮説2に対する取り組み▽

○グループ活動や発表会を通し
てお互いを認め合う場を設定す
る。

○満足感や成就感が得られるよ
うな援助・助言の模索



優れていることよりも、他者
への働きかけ・その子らしさの
表出を大切にしていこう。

二、理科に関して

① 理科研究主題

自然現象を見つめる目を育
てる理科学習はどうあるべき
か

② 研究仮説と取り組み

仮説1

「児童自ら問題を見出し、意
欲的に追求していけるような
場を設定していけば、科学的
な見方・考え方が育ち、自然
現象を見つめる目が育つだろ
う。」

△仮説1に対する取り組み▽

○導入段階での工夫（意外な事
象・矛盾する事実・隠された法
則性を提示）

○活動の場・時間の確保

○問題・予想・方法別小集団に
よる学習↓一斉指導からの脱却

仮説2

「直接経験を重視し、豊かに
表現していく活動を大切に
していけば、自然現象を見つめ
る目が育つだろう。」

△仮説2に対する取り組み▽

○児童の試行錯誤を尊重してい
く。

○自分なりに表現するノート指
導に重点を置く。

○自然物に自ら働きかけていく
活動を十分に取入れていく。

○自分で確かめていかなければ
ならないという必要性に迫らせ

る工夫をしていく。

〈成果と課題〉

成果として

○理科学習や自然と触れ合う活
動に対する児童の興味・関心が
旺盛になった。

○児童の学習や活動が、「主体
的」になりつつある。

課題として

○今後、それぞれの学年に応じ
た個を生かしていく学習の場を
さらに工夫・充実させ、児童の
自己実現の場を確保していく必
要がある。

〈指導助言〉

本校はこれまで理科の研究をし
たことがなく、昨年度より理科・
生活科に取り組んできている。

そこに、郡の理科研究部が入って
約一年間先生方と共に研修を積ん
できたところ、今日の授業には一
年の成果がよく表れていた。

具体的には、

○教師に指示されなくても、子ど
もたちが自ら判断して実験準備が
できるようになってきたこと。

○理科好きな児童がふえたこと。
特に今日の授業では、主に女子の
活躍が目立ったことも大きな成果
といえる。

○藤の本学級の十二人の児童の顔
が満足げであったこと。障害を持
った児童もつばにできていて成
就感を持っていた。これは、個に徹した授
業の積み重ねがなされた成果であ
るといえる。

本校も個に応じた指導を心がけ
ているが、本日の授業にはまさに
よくこれが実現されていた。

さらに、今後の理科・生活科指
導でも本日のような個に徹した指
導が研究課題として残るだろう。

